

創立70周年記念式典を開催しました

公益社団法人 大阪労働基準連合会

当連合会は、昭和28年6月6日に創立され、本年をもって満70周年を迎えることとなりました。

当連合会は、大阪労働局が実施する労働基準行政の支援団体として、設立当時の大阪労働基準局、現大阪労働局の積極的なご指導をいただきながら、大阪府下における労働者の福祉の向上と産業の健全な発展を目的に幅広い事業活動・業務に取り組んで参りました。

創立70周年を記念し、令和6年11月22日KKRホテル大阪銀河の間において「創立70周年創立記念式典」を開催しました。

当日は、お忙しい中、賛助会員様、各種防災団体様等約150名と沢山のご臨席をいただき深く感謝申し上げます。

式典は、当連合会を代表して山本万平会長が、創立70周年を迎えるにあたり、支えていただいた皆様への感謝を込め挨拶を述べたのあと、ご来賓としてお越しいただいた、大阪労働局長 荒木祥一様、中央労働災害防止協会 専務理事 吉永和生様より、ご祝辞を頂戴しました。

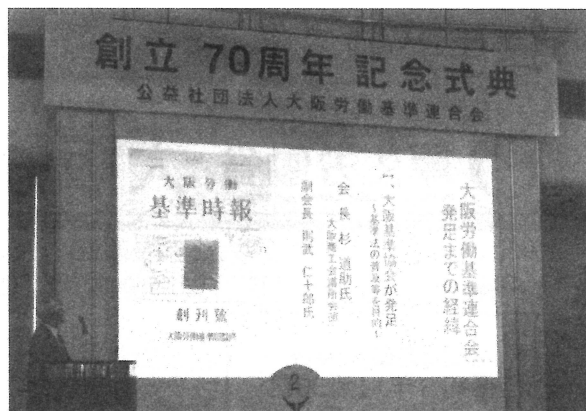


続いて、山本会長より、元大阪中央労働基準監督署長 横田 隆 様に感謝状の贈呈が行われました。



横田様は、中央労働災害防止協会から出版された「工場法小史」をご執筆され、工場法が「児童の就学率を向上させ、児童の深夜業を禁止させたほか、年少者や女子の深夜業の禁止を実現させ、労災疾病のデータから健康保険法を生み出し、労働災害防止に貢献したこと」などを膨大な文献から明らかにされたことから、日本労働ペンクラブ賞を受賞されており、当連合会の

「基準月刊」にもこの関連記事を寄稿いただき、読者からも好評を頂きました。また、創立70周年記念誌を作成するにあたり、戦後、当連合会創立の昭和28年までの当連合会の前身の組織や労働基準行政の流れについて資料を収集し、解明していただきました。これらのご功績により、会長から感謝状を贈呈いたしました。



贈呈式の後、横田様より、戦後連合会創立までの組織変遷や労働基準行政をとりまく状況などについての「ミニ講演」をいただき、式典は終了しました。

引き続き、当連合会 廣部 一彦 副会長の乾杯の音頭で、祝賀会が始まり、会場スクリーンに写し出された連合会の70年の歴史を振り返りながら、和やかなご歓談の後、元労働基準連合会会長 賀須井 良有 様のご挨拶でお開きとなりました。



今後とも、皆様方の一層のご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

会場風景

